



若 草

令和6年度 夏休み号 R6.7.23

1学期を終えて

校長 高木 宏康

74日間の1学期が今日で終わりにになります。ここまで、大きな事故やトラブルもなく、みんなで無事に終業式を迎えられたことをうれしく思います。この1学期は皆さんにとってどんな1学期でしたか。5年生は7月の10、11日に林間学校へ行ってきました。雨にも暑さにも負けず2日間、みんなで協力して活動しました。何よりもみんな楽しくできたところが5年生の素晴らしさだと思いました。他の学年も、授業やそのほかの活動に元気にそして楽しそうに取り組んでいるところをいっぱい見せてもらいました。

「楽しい」と言えば、7月に入ってから、みんなが「楽しかったこと」や、「新しく見つけた楽しみ」について校長室へ話しに来てもらいました。

学習のこと、行事やイベントのこと、いつもの生活のこと等、みんな違う楽しみを見つけていました。みなさんの「楽しみ」について話を聞く中で、「楽しみを見つけるコツ」に気付きました。

楽しみを見つけるコツの1つ目は、「自分から楽しみをつくる」です。ある1年生の男の子は、「『友達をつくったこと』が楽しかった。」と教えてくれました。「友達ができた」ではなく「自分から友達をつくった」というところがポイントです。楽しみというものは、自分で作っていくものだと思います。その他にも、4年生の男の子は「ごみ拾いをして楽しかった。」、1年生の女の子と2年生の女の子は、「図工の活動が楽しかった。」と教えてくれました。どの子も、自分から頑張ったことが楽しみの一つになっています。

楽しみを見つける2つ目のコツは、「新しいこと、初めてのことにチャレンジする」ことです。4年生の女の子は「算数の新しい計算の仕方が分かって勉強がより楽しくなった。」と話してくれました。同じ4年生の男の子は、「たんぽぽ劇団の方といつもとは違った音読をしたことが楽しかった。」そうです。また、3年生の女の子は「初めてリコーダーをやって、いろいろな音が出せたことが楽しかった。」と教えてくれました。さらに、5年生の男の子は「林業体験でチェーンソーを使って切る体験を初めてやったけど、上手に木が切れて楽しかった。」と教えてくれました。知らないこと、初めてのことに取り組む時、きっと心配な気持ちや不安な気持ちもあった

と思いますが、「やってみよう」という気持ちでチャレンジして、「やってよかった。楽しかった。」と思えたのでしょうか。

楽しみを見つけるコツその3は「みんなや友達と楽しむ」です。3年生の女の子は、「大好きなクラスのみんなと一緒に遊んだり、お話したりする毎日が楽しい。」と話してくれました。毎日が楽しいと思えるとは、なんて幸せなことでしょう。この女の子のクラスにも、いろいろな子がいるし、けんかが起きたり、先生に叱られたりすることもあると思います。でもみんな大好きと言えるのは、一人一人の良い所を見ているからだと思います。他にも「友達と」とか「みんなで」という言葉を入れて楽しかったことを話してくれた子が多くいました。4年生の男の子「ごみ拾い大会をして、みんなでごみをたくさん拾ったこと。」、4年生の女の子「友達と遊具や鉄棒、一輪車をして楽しかった。」、1年生の男の子「図工でみんなと作品をつなげて街をつくったこと。」、3年生の男の子は「みんなで楽しく泳げたから、プールが楽しかった。」と教えてくれました。同じくプールのことで3年生の女の子は、「プールで宝探しをしたことがみんなの良い思い出になった。」と話してくれました。このように同じことをやるのでも、友達と一緒に、みんなとやる方がより楽しさが増えるようです。

「自分から」「初めてのことにチャレンジ」「みんなや友達と」この3つのコツを生かして、これからも楽しみをたくさん見つけてください。

いよいよ夏休みです。夏休みも、みなさんにお願いしたいことは同じです。

① 気持ちのこもったあいさつをしましょう。

学校でできた挨拶を家の人、地域の方々、久しぶりに会う親戚の人にもしてください。

② 楽しみを見つけましょう

家の人から楽しみをもらうだけではなく、自分から楽しみをゲットできるといいですね。

夏休みだからできる楽しみをたくさん見つけてください。

③ 自分を大切にしてください。

夏休みの危険（水の事故、熱中症、交通事故）から自分で自分の命を守ってください。

それでは皆さん、楽しい夏休みを過ごしてください。そして、8月29日の始業式の日みんなの笑顔を見ることを楽しみにしています。

（1学期終業式 校長の話）